



国際ダークスカイ協会 東京支部 (IDA 東京) 事務局
〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学経営学部越智研究室
Fax: 03-3945-7477 Mail: ochi (at) idatokyo (dot) org

プレスリリース カテゴリー【環境・サイエンス】

報道関係者各位

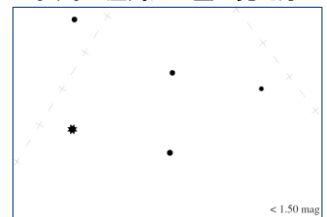
2014年1月17日

「夜空の明るさ世界同時観察キャンペーン」今年は1月20日から 光害問題を啓発、9年目の“GLOBE at Night” (グローブ・アット・ナイト)

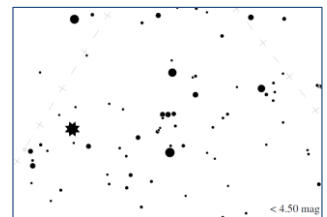
- 「無駄な人工光を減らし、夜空に星の輝きを」— 世界中で一般市民が星の見え方を観察・ウェブで報告し、**夜空の明るさ世界マップ**を作ろうというキャンペーン “GLOBE at Night” が、1月20日から始まります。アメリカ国立光学天文台・国際ダークスカイ協会らが実施する本キャンペーンは 2006 年に始まり、日本国内では国際ダークスカイ協会東京支部 (IDA 東京) が日本語ウェブサイト構築、プロモーションを担当しています。
- 人工照明により夜空が明るく照らされる「**光害 (ひかりがい)**」により、都市部では美しい星空を見ることができません。また、無駄な照明はエネルギーの浪費であると同時に、夜間照明が生態系の破壊や人体への悪影響にも繋がっていることが指摘されています。
- 光害問題の啓発と、星空保護・地球環境保護の意識向上を目指した“GLOBE at Night” は、一般市民からの観察報告を募集しています。決められた日時に屋外に出て夜空を眺め、対象星座周辺の星の見え方 (どれだけ多くの星が見えるか) が、用意された 8 枚の星図のどれが一番近いかを、ウェブで報告します。GPS 付のスマホやタブレットを使えば、位置情報が自動的に入力されるため、非常に簡単に報告できます。
- 去年は世界 89 ヶ国から計 16,342 件の観察報告が集まりました。日本国内からは 620 件で、世界の国でも 7 番目に多い報告数でした。今年のお観察期間は 1~12 月の毎月、月明かりの影響のない 10 日間ずつが設定されています。1月は 20~29 日で、オリオン座が観察対象です。
- GLOBE at Night 日本語ウェブサイトは <http://idatokyo.org/gan/>



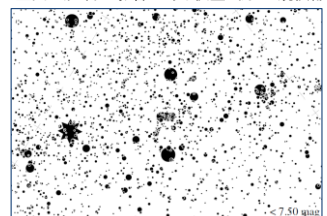
オリオン座周辺の星の見え方



星図1 (光害の影響が大きい夜空 例: 大都市)



星図4 (光害の影響がある夜空 例: 小規模都市)



星図7 (光害の影響がない夜空 例: 離島)

■ 国際ダークスカイ協会 (IDA)、IDA 東京とは

国際ダークスカイ協会は、人工照明による光害問題に取り組む NPO 団体です。IDA 東京は、その日本国内の支部として 2013 年 1 月に開設されました。環境分野・照明分野・天文分野などの専門家が集まり、光害を抑え省エネにも配慮した良好な光環境の形成を目指し活動しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

国際ダークスカイ協会 東京支部 事務局 (担当: ^{おちのぶあき}越智信彰)
FAX: 03-3945-7477 E-mail: ochi (at) idatokyo (dot) org